様式第１号（第１０条関係）

２０２４年度業務実績報告書

提出日　2025　年　1　月　8　日

１．職名・氏名　教授・渡邉敏生

２．学位　　学位　博士、専門分野　経済学　、授与機関　神戸大学　、授与年　2005 年

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ミクロ経済学Ⅰ（2 単位）　1 年生
②　内容・ねらい ミクロ経済学の基礎を学ぶ。家計の消費行動や企業の生産活動を経済学ではどのようにアプローチするのか学習していく。主に、完全競争市場を講義。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 オリジナル・テキストを用意して講義をしている。オリジナル・テキストは、講義の内容と宿題プリントがセットになっている。全 10 講で宿題プリントは 10 枚ある。宿題はすべて回収し、平常点として成績に考慮している。また、学生が間違えやすいところを確認した。中間テストを実施して理解を促している。
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ミクロ経済学Ⅱ（2 単位）1 年生
②　内容・ねらい（自由記述） ミクロ経済学Ⅰを踏まえて、有限の資源が市場を通じた経済活動の中でどのように配分されるかを学習していく。主に、一般均衡分析、市場の失敗（独占、寡占、外部性）、期待効用などを講義。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） オリジナル・テキストを用意して講義をしている。オリジナル・テキストは、講義の内容と宿題プリントがセットになっている。全 10 講で宿題プリントは 7 枚ある。宿題はすべて回収し、平常点として成績に考慮している。また、学生が間違えやすいところを確認した。中間テストを実施して理解を促している。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 経済数学（2 単位）　1 年生
②内容・ねらい（自由記述） 経済学や経営学を学ぶ上で役に立つ基本的な数学のスキルや思考法を学ぶ。主に、関数（1 次関数から 3 次関数まで）、微分、行列などを講義。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） オリジナル・テキストを用意して講義を行っている。オリジナル・テキストは、講義の内容と宿題プリントがセットになっている。全 10 講で宿題プリントは 10 枚ある。宿題はすべて回収し、平常点として成績に考慮している。また、学生が間違えやすいところを確認した。中間テストを実施して理解を促している。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
外書購読（2 単位）　２年生

②内容・ねらい（自由記述）
現代社会や経済の動向に関する短めの論文（エッセイ）を読んでいく。役に立つ専門用語や思考法について英語および日本語で学ぶ。英語の構文を正確に理解して、明瞭な日本語に訳していく。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
学生の学力（英語の読解力）に合わせて教材（テキスト）を用意。2023 年度は、世界の将来像を語る起業家のスピーチを英文で読んだ。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
経済学入門（2 単位）「担当コマ数：1 コマ」　1 年生

②内容・ねらい（自由記述）
ミクロ経済学とは、どのようなテーマを扱う学問なのかを全学の 1 年生を対象に講義した。内容は、ミクロ経済学でよく用いられる用語の説明や効率的な資源配分について直観的に説明した。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
理解が難しいと思われる話題は避けて、パワーポイントのスライド数も可能な範囲で抑えて講義を行った。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
演習Ⅰ（4 単位）　3 年生

② 内容・ねらい（自由記述）
1　教養を身につける。
2　現代の日本社会や経済の動向を把握し、日本が抱える問題点を発見していく。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
文献を読み、レジュメにまとめたものを個人でプレゼンテーションしていく。発表内容を「イントロダクション」、「展開」、「結論」の 3 つのパートを分け、それぞれを意識して発表するように指導した。発表する力、質問する力を鍛えた。2024 年度は、池谷裕二氏（脳科学者・薬学者）の著作を輪読した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
演習Ⅱ（4 単位）　4 年生

②内容・ねらい（自由記述）
「福井・日本・世界」の社会や経済の動き、産業の動向を把握し、マクロ・ミクロの視点から、現在、抱えている問題点を発見する。自分でテーマを決め、卒論を執筆する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）
各自が卒論のテーマに沿った文献を読み、ゼミ生の前でプレゼンテーション（発表）していく。卒論のテーマを 5 月下旬に決め、夏休み前に中間報告会を実施した。後期のゼミでは原稿の執筆と発表を同時に行い、12 月下旬を初稿提出の締切りとした。年末年始に添削を行い、学生はそれを踏まえて、完成原稿を 1 月中旬に提出する。

①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 専攻演習Ⅱ（4）博士前期課程 1 年次後半 －2 年次前半
②内容・ねらい（自由記述） 産業連関表を通して、全国および福井県の産業構造を把握し、経済波及効果を考察していく。修士論文の具体的なテーマを決め、論文を執筆していく。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述） 修士論文のテーマに沿った文献を読み、データを取集する。特に、地元経済の分析がテーマの際は、実際に地方公共団体に出向いて、職員の方にインタビューを行ったり、現状を見ることでデータとの齟齬がないか確認する。演習では原稿の執筆と発表を同時に行い、1 月上旬に論文を完成させる。
(2)その他の教育活動
内容 特別企画講座 A（ケーススタディデ学ぶ労働組合）の運営を新宮晋教授，今池康人准教授とともに行った。

４．研究業績

(1)研究業績の公表
① 著書 【本】
② 学術論文（査読あり） *1 “Bank credit, expected inflation rate, and financial dynamics”, *European Journal of Economics and Economic Policies*, Advance Access, First published online 2024 年 4 月 *2 “Bank Credit, Portfolio Selection, and Macrodynamics in a Small Open Economy”, *Metroeconomica*, First published online 2024 年 12 月 【2 本】
③ その他論文（査読なし） 【本】
④学会発表等 【件】
⑤その他の公表実績 【本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】科研費（基盤（C), 2021 年度－2024 年度） 研究課題名：「開放体系における金融不安定性モデルと日本経済分析」 課題番号：21K01443、研究代表者：渡邉敏生 【学内】戦略的課題研究推進支援 研究課題名：福井県内および北陸地方の地域間産業連関表を用いた経済事例分析
(3)特許等取得
(4)学会活動等
第 15 回　経済理論学会奨励賞選考委員会メンバー（奨励賞審査員）

５．地域・社会貢献活動

1　中学校・高校出張 (1) 探求講座アドバイザー: 大野高校(10 月)、丹生高校(11 月） (2) セミナー講師：丹生地区中高一貫セミナー（8 月・12 月） 2　特定非営利活動法人 ふくい School of Liberal Arts 副理事長

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
学生支援委員会　R6.4～現在に至る
(3)学内行事への参加
入試説明会：福井工業大学付属福井高校（7 月）
(4)その他、自発的活動など